

《発行》 日本オゾン療法研究所 神力就子

No.01

2020.09

オゾン療法研究 ニュース

統合医療の発展にむけて

オゾン療法はCOVID-19に有効！

在日キューバ大使館ラモン参事官より、日本統合医療学会の小野直哉理事に
キューバ本国の情報が寄せられました。以下に紹介します。

小野先生へ

昨日、キューバで報告された報告書の一部を共有させて頂きたいと思います。オゾン療法を他の薬と組み合わせた臨床試験の結果が、会議で Diaz Canel キューバ大統領に報告されました。以下が訳です。
(神力註：ラモン氏がスペイン語から英訳された文です)

この会議では、中度～軽度の症状をしめした SARS-CoV-2 罹患患者に対して注腸オゾン療法を使った臨床試験の結果が報告されました。

国立 Development and Innovation 科学研究センター、センター長の Sarahi Mendoza Castañón 医師は「オゾン療法と、従来の COVID-19 に対する治療法の組み合わせにより、PCR 検査で、陰性になった患者の数が、5 日目には 40% 増えました。患者一人につき 3.5 日入院日数を減らすことができました。」と述べました。氏は、オゾン療法は安全で、副作用も殆ど無く、生命に深刻な影響を及ぼす事象も見られなかった、と指摘しました。

これらの結果により、CRP 陽性が継続している患者たちに対して、補助的療法のオプションとしてオゾン療法を選択することを、国の COVID-19 行動指針に組み込むことが認められました。

ご報告まで Ramon

Dear Ono sensei:

I would like to share with you the translation of part of an article that was published in Cuba yesterday. During a meeting with the President of Cuba the results of the clinical trial combining ozone therapy with other drugs, was presented to the president Diaz Canel. Following the translation:

In this meeting, were also presented, the results of a clinical trial with the use of rectal ozone therapy in patients confirmed with SARS-CoV-2, who presented mild and moderate symptoms.

Doctor Sarahi Mendoza Castaño, director of Research, Development and Innovation of the National Center for Scientific Research, expressed : "the association of ozone therapy with the conventional treatment of COVID-19 increased by 40% the number of patients with a negative PCR test on the fifth day. It was possible to reduce the hospital stay by 3.5 days on average per patient". He pointed out, that Ozone therapy, was safe, well tolerated, and there were no biosafety incidents. These results allowed the incorporation of ozone therapy as an adjunctive treatment option in patients with persistent positive CRP, within the national action protocol for COVID-19.

Best regards

Ramon

日本統合医療学会は 2017 年 7 月、「キューバ生体エネルギー・自然医療学会」と包括的学術協定を締結しました。オゾン療法はこの中に包含されております。この縁があって、キューバ側から小野直哉理事に情報がもたらされました。私、神力は 1994 年にオゾン療法の日本での再復活を試み、今日まで、オゾン療法の普及に努めております。以下に小野理事のメール文を紹介します。

神力 様

残暑お見舞い申し上げます。 お世話になります。

先日、キューバ大使館でお世話になっているラモン参事官から、キューバでの新型コロナウイルスに対するオゾン療法に関する下記のご連絡を頂きました。ご参考になれば幸いです。
また、最近の日本のテレビや新聞のニュースでも新型コロナウイルスに対するオゾンの効果が報道されています。

神力さんはじめ、日本でオゾンに関わってきた皆さんのこれまでのご努力は、着実に実を結んでいると思います。

残暑厳しいですが、お体には十分お気を付けて、ご自愛の程、宜しくお願ひ致します。

小野直哉 拝

オゾノサン・ジャパンでは、ヨーロッパにおける過去の実績からオゾン療法がコロナ感染症に有効であることを疑いませんでした。しかし、日本ではオゾン療法を認知してもらうにはかなりの努力が必要です。イタリア、スペインなどから、オゾン療法がコロナ疾患に有効との電子情報が飛び交ってもデータが乏しく、一方、米国の連邦裁判所は、ダラスにあるピュリティヘルスセンターが「オゾン療法が COVID-19 に有効」と主張することを禁じる永久的な差し止め命令を出しました※（4 月 24 日）。

*米国 FDA は 30 年以上前から、オゾン療法を認めていません。これは政治的判断によると思われます。

一方、ドイツの関連会社から、オゾン療法に関する消耗品の品薄を伝えて来ましたので、ドイツではオゾン療法は活発に動いていると判断しております。

こういう時にキューバの情報が入って来ました。これをニュース第 1 号としてお伝えすることにしました。私はコロナに感染しないよう、基礎体力アップ、免疫力アップにオゾン療法をしております。

先生方の益々のご健勝を祈り上げます。